

講義コード Course code	022001104
講義名 Course title(Japanese)	社会学 A
英文講義名 Course title (English)	Sociology A
(副題) Course subtitle	
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	前期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日
時限 Period	2 時限
担当教員 Lecturer(s)	

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	新谷 由里子		発達科学科心理学専攻

授業の内容（主題） Course description

- ・社会学は、個人と社会の相互的な関係に視点を置き、複雑化する現代社会が抱えるさまざまな社会的問題や現象、また、人間の社会的生活について幅広く研究する学問です。人間が作る社会（集団）は時代とともに変遷することに加え、その形態も急速に変化していきます。
- ・授業では、社会学の基本的考え方と基礎概念を分かりやすく説明し、それを踏まえて、家族、教育、社会階層、ジェンダー、ライフコース、労働、少子高齢化、都市などのテーマを幅広く取り上げます。加えて、それぞれのテーマにアプローチする中で、社会学が獲得してきた成果(社

到達目標 Course objectives

- ・現象と社会の全体像を時間的・空間的な広がりの中で理解し、現代の社会事象や社会問題について社会的な視点で考える力を養う。
- ・実際に体験したり見聞したりする個々の事象や問題に対して、十分に客観的で合理的な解釈・評価ができるようになることが到達目標である。

授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション (社会学とは)	復習(30分): 講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。

第2回	社会学史①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第3回	社会学史②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第4回	社会学史③	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第5回	家族の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第6回	家族の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第7回	労働の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第8回	逸脱・犯罪・自殺の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第9回	教育の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第10回	教育の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第11回	文化の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第12回	少子高齢化の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第13回	日本の人口減少と社会	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第14回	現代の社会学理論	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第15回	総括	

授業計画コメント

Course outline

基本的にシラバスに沿った授業計画とするが、途中変更があった場合は授業内で説明、周知する

授業の進め方

Session plan

適宜、授業内容に沿った資料を配付し、講義形式（状況によっては、遠隔授業に変更の可能性有）で実施する。また、必要に応じて映像や画像を視聴する。

アクティブラーニング

Active learning

授業で学んだ社会学的事象を自分の関心に引き寄せて、新聞、ニュース、資料などより具体的に把握、考察、評価する。

授業時間外の学修（予習・復習等）

Preparation and review outside classroom hours

授業内で学んだ知識や内容に関して、資料、論文、書籍等を通してさらに理解を進める。

教科書等

Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1						

2					
3					
4					
5					

(必ず購入すべきもの)

Materials required for sessions

特になし。

参考図書

Reference book(s)

- ・『本当にわかる社会学』現代位相研究所編 2010
- ・河合雅司『未来の年表』講談社現代新書 2017/河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書 2018
- ・友枝 敏雄『社会学のエッセンス 新版補訂版-- 世の中のしくみを見ぬく』有斐閣アルマ, 2017/3/30
- ・橋爪 大三郎『社会学講義』(ちくま新書) 2016/9/6
- ・竹内 洋『社会学の名著30』(ちくま新書) 新書 #8211; 2008/4/1

成績評価方法および評価基準

Evaluation criteria

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	0%	0%	85%	15%

成績評価の方法に関する注意点

Assessment criteria

成績評価に変更がある場合、授業内で周知およびシラバスに再掲示する。
授業参加、平常点も重視します。

課題のフィードバック

Feedback

適宜、必要に応じて対応する

学生へのメッセージ(履修上の心得)

Message to students (class guidelines)

社会の仕組みや現代の社会問題、社会政策など、身近な社会的関心事に目を向け、自ら学習を深めることが望ましい。積極的な参加を期待します。

科目のレベル、前提科目など

Level / Prerequisites

社会学の専門的分野・トピックスを対象とする為、基礎的分野全般を網羅し習得できる社会学概論を事前に受講することが望ましい。

キーワード

Keyword(s)

社会学理論、社会調査、社会事象、社会問題、家族、教育、ジェンダー、格差、人口変動、結婚、出生、逸脱、教師論、過疎化、地方創生 etc.

講義コード Course code	022001102
講義名 Course title(Japanese)	社会学 A
英文講義名 Course title (English)	Sociology A
(副題) Course subtitle	
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	前期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日
時限 Period	4 時限
担当教員 Lecturer(s)	

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	新谷 由里子		発達科学科心理学専攻

授業の内容（主題） Course description

- ・社会学は、個人と社会の相互的な関係に視点を置き、複雑化する現代社会が抱えるさまざまな社会的問題や現象、また、人間の社会的生活について幅広く研究する学問です。人間が作る社会（集団）は時代とともに変遷することに加え、その形態も急速に変化していきます。
- ・授業では、社会学の基本的考え方と基礎概念を分かりやすく説明し、それを踏まえて、家族、教育、社会階層、ジェンダー、ライフコース、労働、少子高齢化、都市などのテーマを幅広く取り上げます。加えて、それぞれのテーマにアプローチする中で、社会学が獲得してきた成果(社

到達目標 Course objectives

- ・現象と社会の全体像を時間的・空間的な広がりの中で理解し、現代の社会事象や社会問題について社会的な視点で考える力を養う。
- ・実際に体験したり見聞したりする個々の事象や問題に対して、十分に客観的で合理的な解釈・評価ができるようになることが到達目標である。

授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション (社会学とは)	復習(30分): 講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。

第2回	社会学史①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第3回	社会学史②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第4回	社会学史③	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第5回	家族の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第6回	家族の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第7回	労働の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第8回	逸脱・犯罪・自殺の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第9回	教育の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第10回	教育の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第11回	文化の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第12回	少子高齢化の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第13回	日本の人口減少と社会	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第14回	現代の社会学理論	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第15回	総括	

授業計画コメント

Course outline

基本的にシラバスに沿った授業計画とするが、途中変更があった場合は授業内で説明、周知する

授業の進め方

Session plan

適宜、授業内容に沿った資料を配付し、講義形式（状況によっては、遠隔授業に変更の可能性有）で実施する。また、必要に応じて映像や画像を視聴する。

アクティブラーニング

Active learning

授業で学んだ社会学的事象を自分の関心に引き寄せて、新聞、ニュース、資料などより具体的に把握、考察、評価する。

授業時間外の学修（予習・復習等）

Preparation and review outside classroom hours

授業内で学んだ知識や内容に関して、資料、論文、書籍等を通してさらに理解を進める。

教科書等

Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1						

2					
3					
4					
5					

(必ず購入すべきもの)
Materials required for sessions

特になし。

参考図書
Reference book(s)

- ・『本当にわかる社会学』現代位相研究所編 2010
- ・河合雅司『未来の年表』講談社現代新書 2017/河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書 2018
- ・友枝 敏雄『社会学のエッセンス 新版補訂版-- 世の中のしくみを見ぬく』有斐閣アルマ, 2017/3/30
- ・橋爪 大三郎『社会学講義』(ちくま新書) 2016/9/6
- ・竹内 洋『社会学の名著30』(ちくま新書) 新書 #8211; 2008/4/1

成績評価方法および評価基準
Evaluation criteria

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	0%	0%	85%	15%

成績評価の方法に関する注意点
Assessment criteria

成績評価に変更がある場合、授業内で周知およびシラバスに再掲示する。
授業参加、平常点も重視します。

課題のフィードバック
Feedback

適宜、必要に応じて対応する

学生へのメッセージ(履修上の心得)
Message to students (class guidelines)

社会の仕組みや現代の社会問題、社会政策など、身近な社会的関心事に目を向け、自ら学習を深めることが望ましい。積極的な参加を期待します。

科目のレベル、前提科目など
Level / Prerequisites

社会学の専門的分野・トピックスを対象とする為、基礎的分野全般を網羅し習得できる社会学概論を事前に受講することが望ましい。

キーワード
Keyword(s)

社会学理論、社会調査、社会事象、社会問題、家族、教育、ジェンダー、格差、人口変動、結婚、出生、逸脱、教師論、過疎化、地方創生 etc.

講義コード Course code	022001103
講義名 Course title(Japanese)	社会学 A
英文講義名 Course title (English)	Sociology A
(副題) Course subtitle	
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	前期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日
時限 Period	4 時限
担当教員 Lecturer(s)	

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	川上 代里子		経営学科

授業の内容（主題） Course description

「社会学とは何か」と考えたとき、社会学は家族、集団、組織など人間関係を切り口として社会関係を分析していく学問であるといえるだろう。しかしその研究対象は幅広く、視点や方法も多様であるため、社会学の全体像を短期間で把握するのは難しい。そのため本講義では、我々の身近な問題を取り上げ、そのような問題を社会学がこれまでどのように扱ってきたか考察することから始める。みなさんには、ただ単に社会学についての知識を詰め込むのではなく、社会学的にももの考える能力、つまり自分の身近に起こっている問題を、個々の問題として終わらせず、ものごとをもっと広い脈絡の中でとらえることができるようになってほしい。

到達目標 Course objectives

社会学的にももの考える能力の前提として、基本的な社会学用語を習得することを目標とする。また各回のテーマに関して、研究の流れにそって主要な理論を理解していくことを目標とする。

授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション、社会学誕生の背景	復習：講義での注意事項を確認し、学んだことを復習する。(120分)

第2回	成立期の社会学	予習：第1回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：講義の内容を踏まえ、現代の日本社会が過去と比較してどのように変化したか考えてみる。(120分)
第3回	社会学史(1) マルクスからウェーバーへ	予習：第2回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：マルクスの思想がウェーバーにどのような影響を与えたか、もう一度講義の内容を振り返って考えてみる。(120分)
第4回	社会変動	予習：第3回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：講義の内容を踏まえ、近代日本の歴史、社会の変化について考えてみる。(120分)
第5回	集団の社会学(1) 社会類型論	予習：第4回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身近にある基礎集団と機能集団をそれぞれ挙げてみる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第6回	社会学史(2) 社会の発見(デュルケム)	予習：第5回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：講義の内容をふまえ、普段の生活で、どのようなときに「社会」というものの存在を意識するか考えてみる。(120分)
第7回	集団の社会学(2) 組織とはなにか、産業化と組織	予習：第6回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身の回りの事例から、人間関係が集団全体に与える影響を考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第8回	集団の社会学(3) 官僚制	予習：第7回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身近な組織(部活動など)で官僚制の良い点といえるものを挙げる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第9回	集団の社会学(4) 官僚制のデメリット	予習：第8回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身近な組織(部活動など)で官僚制のデメリットといえるものを挙げる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第10回	集団の社会学(5) 群衆・大衆・公衆	予習：第9回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分が一人にいる時と集団の中にいる時とを比較して、物の感じ方や気持ちがどのように異なるか考えてみる。(120分)
第11回	社会的性格	予習：第10回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：日本社会に共通する性格や特徴とはどのようなものか、考えてみる。(120分)
第12回	社会学史(3) 人びとの相互作用と社会(ジンメル)	予習：第11回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：講義の内容を踏まえ、普段の生活における自分と他者との相互作用の場面にはどのようなものがあるか考える。(120分)
第13回	都市とはなにか	予習：第12回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：農村と都市を比較し、自分はどちらに住みたいか考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)

第14回	都市の暮らしを考える	予習：第13回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：都市の暮らしは孤独か? 都市の人間関係に焦点をあてて考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第15回	まとめ	予習：第1回～14回の授業の内容を確認しておく。(120分) 復習：講義で学んだことを復習する。(120分)

授業計画コメント

Course outline

学んだ知識を定着させるために、必要に応じて授業内で練習問題(課題)に取り組んでいく。また講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。そのための簡単な下調べを予習復習として課すことがある。

授業の進め方

Session plan

教員から提示する資料に基づく講義形式の授業である。資料は授業で随時配布する。各テーマごとに問題演習を行う。また講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。そのための簡単な下調べを予習復習として課すことがある。

アクティブラーニング

Active learning

授業開始時に学生に問いを提示し、その答えを考えながら講義を受講し、授業の最後に問に対する自分なりの回答を書いて提出してもらう。

授業時間外の学修(予習・復習等)

Preparation and review outside classroom hours

講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうため、簡単な下調べを予習復習として行う。

教科書等

Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	使用しない					
2						
3						
4						
5						

(必ず購入すべきもの)

Materials required for sessions

特になし

参考図書

Reference book(s)

『社会学』アンソニー・ギデンズ著 而立書房
『スタートライン 現代社会の諸相』久門道利等著 弘文堂
*これ以外にも、各回のテーマに沿った文献を紹介することがある。

成績評価方法および評価基準

Evaluation criteria

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
--	---------------	----------------------------	--------------------------------	------------------------

評価比率% Evaluation ratio	80%	0%	15%	5%
成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria				
授業の一環として、課題に取り組んでもらいます。 受講態度はこちらが提示する問いに対する取り組み状況が含まれます。 詳細は、授業内で指示します。				
課題のフィードバック Feedback				
授業で提示する問いのなかには、Yes か No で回答できるものがある。その集計結果を発表し、受講者の考え方の傾向を全員で共有する。また内容についての問題演習は、解説を行う。				
学生へのメッセージ（履修上の心得） Message to students (class guidelines)				
講義の内容を参考にして、授業の最初に特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。意見を書く際には「どのような意見を述べたか」によって評価が決まることはないので安心して欲しい。テーマとなる問題について、自分なりに考え、意見をまとめてそれを書くという作業をすること自体が大切である。まずは簡単で良いので自分なりの意見を持ち、それをフィードバックして欲しい。ただ出席するだけでなく、提示した課題に取り組む積極的に授業に参加してもらいたい。				
科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites				
前提科目：特になし。入門的な科目である。 これまで社会学というものに触れたことのない学生に、「社会的に考える」ということを経験して欲しい。				
キーワード Keyword(s)				
社会学				